

稲沢市の生き物

稲沢市動植物生息調査報告書 概要版(調査期間：平成23年度～27年度)



©稲沢市 いなっぴー

○ 市内に生息する希少な野鳥（絶滅危惧種・準絶滅危惧種）

市内にはレッドデータブックに記載される希少な野鳥が生息したり飛来しています。

※図・表の、**国**は環境省、**県**は愛知県、**絶**は絶滅危惧種、**準**は準絶滅危惧種を表します。



オオタカ(国県準)



アカハラ(県絶)



コアジサシ(国県絶)



コサメビタキ(県準)



トモエガモ(国県絶)



サンショウクイ(国絶)



ツツドリ(県準)



ハイタカ(国準)



ハヤブサ(国県絶)



マガン(国準)



ミサゴ(国準・県絶)



ヒクイナ(国準・県絶)

<市内の主な希少種>

アオバズク	県絶	アカハラ	県絶	オオタカ	国県準
カワアイサ	県絶	コアジサシ	国県絶	コサメビタキ	県準
サシバ	国県絶	サンショウクイ	国絶	ズグロカモメ	国県絶
セイタカシギ	国県絶	タカブシギ	国県絶	チゴモズ	国絶
チュウサギ	国準	チュウヒ	国県絶	ツツドリ	県準
ツミ	県準	トモエガモ	国県絶	ハイイロチュウヒ	県絶
ハイタカ	国準	ハヤブサ	国県絶	ヒクイナ	国準・県絶
フクロウ	県準	ブッポウソウ	国県絶	ホオアカ	県絶
マガン	国準	ミサゴ	国準・県絶	ヨタカ	国準・県絶

○ 市内で見られる在来の水生生物

市内は基盤整備が整い、農業用水の多くは「宮田用水」を使用しています。従って、市内の水路に生息する水生生物の多くは各地区共通しています。



ナゴヤダルマガエル(国県絶)



ミナミメダカ (国絶・県準)



フナ



モツゴ



ナマズ



ホウネンエビ



スジエビ



ドンコ(県絶)



モノアラガイ(国県準)



ヒメタニシ



クサガメ

市内の宮田用水系排水路でよく見られる水生生物

フナ	ミナミメダカ	タモロコ	モツゴ	ドジョウ
ドンコ	ヨシノボリ	スジエビ	ヌマエビ	ホウネンエビ
カブトエビ	モノアラガイ	ヒメタニシ	ドブガイ	ツチガエル
トノサマガエル	ナゴヤダルマガエル	クサガメ	ガムシ	マツモムシ
アメンボ	ヘイケボタル(幼虫)	ヤゴ(各種)	ミズムシ	ハイイロゲンゴロウ

○ 市内で見られる外来の水生生物

生態系の破壊が危惧されます。特にミシシippアカミミガメとスクミリンゴガイの繁殖が顕著です。



ミシシippアカミミガメ

市内で生息するカメの調査では、観察されるカメの90%以上がミシシippアカミミガメでした。



スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)とその卵



カダヤシ



タイリクバラタナゴ



アメリカザリガニ

○ 木曾川そぶえ砂丘自然林一帯で見られる野鳥や昆虫

豊かな水をたたえた木曾川とその河川敷に形成された砂丘や自然林は、特別な環境を作りあげています。

◎木曾川に集まる貴重な水鳥



アメリカヒドリ



オオミズナギドリ



カワセミ



クロハラアジサシ



ミコアイサ

◎豊かな水に育まれた自然林に集まる野鳥



アカゲラ



キクイタダキ



ヒレンジャク



ベニマシコ



ヤツガシラ

◎木曾川河畔のトンボ



ハグロトンボ



セズジイトンボ



ウチワヤンマ



コオニヤンマ

◎自然林とその周辺の植物を食草として生息するチョウ



ジャコウアゲハ



ツマキチョウ



コムラサキ



ゴマダラチョウ

◎自然林とその周辺で見られるコウチュウやハチ・アブ



ヤマトタムシ



マイマイカブリ



キオビクモバチ



トラフムシヒキ

○ 木曾川そぶえ砂丘自然林一帯で見られる植物

稲沢市の西端に位置する木曾川河川敷は別名そぶえ砂丘と呼ばれ、かつて砂の河原が広がっていました。木曾川大堰ができてからは広大な自然林が形成され、次のような他とは違った植物が見られます。

アオイスミレ	アオミズ	アキカラマツ	アキノウナギツカミ	アキノノグシ
イヌコウジュ	ウマノアシガタ	ウマノズクサ	オドリコソウ	オヘビイチゴ
カキドオシ	カワラアカザ	カワラケツメイ	キツネアザミ	キランソウ
キンミズヒキ	クララ	クルマバナ	ゴキヅル	コウゾリナ
シロバナサクラタデ	センニンソウ	ダイコンソウ	ニガナ	ニホンタンポポ
ノアザミ	ピロードテンツキ	ミズヒキ	ミズタマソウ	ミゾコウジュ
ミゾソバ	ミソハギ	ムラサキケマン	ムラサキサギゴケ	メハジキ
ヤブツルアズキ	ヤマネコノメソウ	カワラヨモギ		



ピロードテンツキ (県絶)



カワラケツメイ



カワラヨモギ



カワラアカザ (県準)



キンミズヒキ



コウゾリナ



キツネアザミ



シロバナサクラタデ



メハジキ



ミズタマソウ



ミゾコウジュ (国準)



オドリコソウ



カキドオシ



クララ

○ 市内の水田やその周辺で見られる在来の植物

農業の機械化や除草剤など、合理化によって多くの植物が姿を消しつつありますが、市内の湿地を調査すると、次のような貴重な在来の植物が確認されました。



ミズオオバコ (大里西) (国絶)



コバノカモメヅル (大里西)



キクモ (明治、小正、千代田他)



ミズワラビ (大里東)



ミコシガヤ (大里西)



ガガイモ (市内全域)



オギノツメ (小正、大里西他)



ミゾカクシ (小正)



チゴザサ (小正)



コナギ (平和、小正他)



アゼナルコスゲ (小正、千代田他)



イボクサ (小正)

アゼガヤ	アゼナルコスゲ	イボクサ	イヌホタルイ	オギノツメ
ガガイモ	カワラスガナ	キカシグサ	キクモ	クログワイ
コナギ	コバノカモメヅル	サデクサ	シロバナサクラタデ	シロバナタンポポ
チゴザサ	チョウジタデ	ヒナガヤツリ	フタバムグラ	マコモ
ミコシガヤ	ミズオオバコ	ミズワラビ	ミゾカクシ	ヤノネグサ

○ 市内で多く見られる昆虫とその食べ物（食草等）

昆虫（主に幼虫）は種類によって食べ物が決まっています。市内では野菜や植木、川の中の生き物、道端の草など、それぞれを食べ物として次のような昆虫を多く見かけました。

昆虫の食べ物	昆 虫	昆虫の食べ物	昆 虫
ミカンやキンカン	ナミアゲハやクロアゲハ	エノキ	テングチョウやゴマダラチョウ
イチジクやクワ	カミキリムシのなかま	クスノキ	アオスジアゲハ
ヤナギ	コムラサキ	堆肥や朽木	カブトムシやクワガタ
キャベツ	モンシロチョウ	ウリのなかま	ウリハムシやクロウリハムシ
マメのなかま	マメコガネ	ニンジンやセリ	キアゲハ
スイバやギシギシ	ベニシジミ	パンジーやスマレ	ツマグロヒョウモン
カタバミ	ヤマトシジミ	ハギやメドハギ	キタキチョウ
ウマノスズクサ	ジャコウアゲハ	シロツメクサ	モンキチョウ
アブラムシ	テントウムシのなかま	肉食	カマキリやトンボのなかま



ナミアゲハ



アオスジアゲハ



キタキチョウ



ベニシジミ



ヤマトシジミ



シオカラトンボ



ナナホシtentou

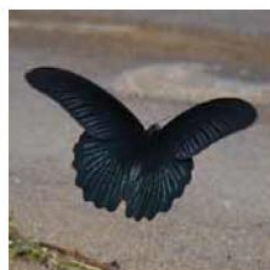


ナミtentou

※ 温暖化によりよく見かけるようになった昆虫



ツマグロヒョウモン



ナガサキアゲハ



アオドウガネ

稲沢市動植物生息調査報告書 概要版（平成 28 年 3 月）

発行：稲沢市 企画：稲沢市経済環境部環境保全課（0587-36-3710）

調査・編集・資料提供：子どもの学び支援 Moegi21

※本資料に使用した写真は全て稲沢市内において撮影されたものです